

2022年度の事業報告書

NPO法人おりがみ

1 事業の成果

(1) 特定非営利活動に係る事業

① ボランティア活動の啓発・普及・育成活動

1. 2022年度も引き続き、Earth Light Projectの企画進行、及び270人の若者ボランティアのマネジメント業務を行った。9月4日、茨城県鹿島市にて、本事業設立当初からの最終目標であったスペースバルーンの打ち上げ、及び成層圏における炎の点火を達成した。その成果がもととなり、国連UNHCRのイベントで受賞した。
2. 2022年度より新規に、千葉県が発注する「令和4年度若者との協働による環境学習等推進事業」の進行管理に関する業務を受託した。62人の学生を企画・運営ボランティアとして巻き込み、「若者が環境に慣れ親しみ環境問題に関心を持つためにはどうすればいいか」を学生自らが考えて企画した4つのプロジェクトの進行をサポートした。
 - a. 冒険のチュートリアル～竹林の工房～
竹害の現状と取り組みについて学び、自分たちができることを考える竹のワークショップを開催。竹林に行き、竹を伐採し、名札やモザイクアートなど自分たちだけのオリジナル竹細工体験を行った。竹害問題に関するクイズも実施した。
 - b. 冒険のチュートリアル～はじまりの浜～
幕張の浜でビーチクリーンイベントを実施した。海洋ゴミ問題について楽しみながら学べるよう、宝探し形式のゴミ拾いやマイクロプラスチックを使ったゴミアートの作成、地元の若者アーティストの音楽パフォーマンスを行った。
 - c. 冒険のチュートリアル～環境冒険家の集い～
約500個の竹あかりを点灯するイベントを実施した。ステージでは夜の竹あかりに照らされながら音楽パフォーマンスを行った。その他にも環境問題をテーマにした展示やキャンドル作りのワークショップも出展した。
 - d. はじまりの秘密基地～環境冒険家の岩～
aからcを通して環境に対して関心を持った学生を対象に、自然の中にある物だけで秘密基地を作る体験活動を実施した。体験活動を通じて感じた自然の大切さや魅力に関するディスカッションも行った。
3. 2022年度より新規に、大阪・関西万博に向けた取り組みを行う「共創パートナー」に認証された。関東にも万博をきっかけとしたムーブメントを起こすことに熱意のある若者を集めたコミュニティ「SUNABA」を立ち上げて活動を行った。
 - a. Legacy Lab
若者に「万博への参画」を通じた社会的活動に興味を深めてもらうための講演会やワークショップを行った。
 - b. Legacy Forum
関東にも大阪・関西万博に向けた取り組み「共創チャレンジ」の活動を広げることに関心のある若者を集めた合宿・研修イベントを行った。
 - c. Legacy Commu
EXPO2025をきっかけに関東の若者が集まり自由に話し合う緩い交流会企画。全く異なった価値観や経験をもつ人たちと情報交換を行った。

②地域活性化プログラムの創出・継続

4. 「上野ハレノヒ計画」と名称を改め、2022年度も引き続き、上野の地域活動と、イベントへの若者参画のコーディネートを行った。地域活動では、上野中通り商店街を中心とした上野の魅力や課題の調査・SNS発信などを行い、イベントへの若者参画のコーディネートでは、上野で行われる様々なイベントの運営ボランティアに定期的・継続的に参加した。
 - a. 上野倶楽部の運営・マネジメント
上野地域の魅力や課題に関するブログやSNS発信、上野にゆかりや愛着のある人が交流できるコミュニティづくりを主な活動とする「上野倶楽部」の運営マネジメントを上野中通り商店街振興組合と協働で行った。
なお、上野倶楽部は、第17回東京商店街グランプリ特別賞を受賞した。
上野倶楽部で主催した主なイベントに、9月2日～4日の藝願成就イベント（摩利支天徳大寺）及び2月11日のお茶カフェ（茶の君野園）がある。
 - b. イベントの運営ボランティア
ボランティアとして参画した主なイベントは以下の通りである。

4月9日～16日	第10回和様の書展	（東京都美術館）
4月9日～16日	第3回クセ字コンテスト	（東京都美術館）
4月9日～16日	子供手書きコレクション	（東京都美術館）
5月27日、9月25日	Peace of Light	（上野恩賜公園 水上音楽堂）
8月19日～8月28日	ウエノデビアフェスタ2022	（上野恩賜公園）
9月16日～19日	TOKYO LIGHTS 2022	（明治神宮外苑）
9月24日	R.JAPAN	（上野恩賜公園、水上音楽堂）
10月15日、16日	根津・千駄木下町まつり	（藍染大通り）
10月23日	今日は1日お祭りナイト！10月ハロウィン盆踊り×たこ焼きパーティー！（芸工展）	（工房ムジカ）
10月28日～30日	シタマチハロウィン2022	（上野動物園 弁天門前広場）
11月11日～13日	TOKYO LIGHTS 2022	（明治神宮外苑）
11月12日	登竜門	（渋谷 SPACE ODD）

③障がい者の雇用・交流機会活性化事業

5. 2022年度より新規に、千葉県が発注する「パラ『旅』応援事業」の進行管理に関する業務を委託した。本事業は、学生ボランティアが中心となり、ヘルパーや同伴者のバックアップのもと障がい者のパラスポーツ観戦及び外出の支援を行う事業である。旅行業者や福祉関連企業、大学関係者などにより構成される「観戦等支援組織」の運営や、学生ボランティア89人や障がい者41人の募集・マネジメント等を担当した。
 - a. 2022千葉シテイトライアスロン大会の観戦イベント
稲毛海浜公園で開催された「2022千葉シテイトライアスロン大会」の観戦と稲毛海浜公園の観光を行った。参加者は、障害のある人18人、ボランティア34人、ヘルパー12人。車椅子ユーザーも含めて全員が砂浜上でスイムを観戦し、その後バイクの試乗や選手との交流会をした。最後に、芝生広場にて任意でペガールボールとパラバルーンをアレンジしたレクリエーションを行った。
 - b. 2022ジャパンパラ車いすラグビー競技大会の観戦イベント
千葉ポートアリーナで開催された「2022ジャパンパラ車いすラグビー競技大会」の観戦とペリエ千葉にてショッピングを行った。参加者は、障害のある人23人、ボランティア55人、ヘルパー13人。車椅子の衝突の迫力が見どころの車椅子ラグビーを全員で観戦し、観戦に満足した班は別室で交流プログラムを堪能した。最後にペリエ千葉で各班思い思いに買い物を楽しみ楽しむことができた。
6. 2022年度も引き続き、障がい者が従事する駄菓子屋を使った地域活性化イベントの企画・立案業務を行った。駄菓子屋に集まる地域住民との対話や子どもとの交流により、地域の居場所づくりに取り組んだ。
7. 2022年度より新規に、子どもを対象とする地域スポーツイベント等に障がい者の活躍するブースの出店を行った。子どもが喜ぶ縁日企画を立て、障がい者が学生ボランティアと協働して子ど

もにおもてなしをする体験活動に取り組んだ。

④社会貢献活動に取り組む人々のコミュニティ運営事業

8. 2022年度も引き続き、学生団体おりがみや全国学生ボランティアフォーラムを中心とした若手ボランティア団体の支援を行った。
9. 2022年度も引き続き、墨田区京島のコミュニティスペースを運営した。

(2)その他の事業

①飲食物販売事業

今年度は実施していない。

②物品、権利、役務及びその他の当該消費者契約の目的となる事業

今年度は実施していない。

2 事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
①ボランティア活動の啓発・普及・育成活動	1.Earth Light Projectの企画・進行	通年	オンライン及び茨城県鹿島市	50人	全国の大学生・若手社会人約300人、千葉市内の小中学校の生徒児童約67,000人
	2.千葉県「令和4年度若者との協働による環境学習等推進事業」の進行管理	通年	オンライン	62人	千葉県近郊の環境団体15団体に属する117人
	2-a.「冒険のチュートリアル～竹林の工房～」の進行管理 (令和4年度若者との協働による環境学習等推進事業)	9月7日	わたしの田舎谷当工房	6人	千葉県近郊の環境団体15団体に属する16人
	2-b.「冒険のチュートリアル～はじまりの浜～」の進行管理 (令和4年度若者との協働による環境学習等推進事業)	10月8日	幕張の浜	20人	千葉県近郊の市民184人
	2-c.「冒険のチュートリアル～環境冒険家の集い～」の進行管理 (令和4年度若者との協働による環境学習等推進事業)	12月18日	千葉ポートパーク	82人	千葉県近郊の市民450人
	2-d.「はじまりの秘密基地～環境冒険家の砦～」の進行管理 (令和4年度若者との協働による環境学習等推進事業)	11月13日 2月26日	大房岬自然公園及び千葉自然学校	6人	千葉県近郊の環境団体15団体に属する51人

	3.EXPO2025関東ユースパビリオンの企画・進行	通年	オンライン	6人	関東近郊を中心とする約50人
	3-a.Legacy Lab	11月20日、1月15日	キッズドア押上事務所及びラボカフェ	4人	関東近郊を中心とする約30人
	3-b.Legacy Forum	1月14日～15日	Wonder LAB Osaka	6人	25人
	3-c.Legacy Commu	2月22日 3月31日	EJEVAR	5人	関東近郊を中心とする50人
②地域活性化プログラムの創出・継続	4.上野ハレノヒ計画の企画・進行	通年	上野	30人	上野商店街含め全域の約110店舗
	4-a.上野倶楽部の運営・マネジメント (上野ハレノヒ計画)	通年	上野中通り商店街、オンライン	49人	上野商店街の約110店舗
	4-b.イベントの運営ボランティア (上野ハレノヒ計画)	随時	主に、上野恩賜公園、水上音楽堂、東京都美術館	30人	イベント運営・参加者約5万人
③障がい者の雇用・交流機会活性化事業	5.千葉県「パラ『旅』応援事業」の進行管理	通年	オンライン及び千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンター	20人	千葉県在住の障害のある人50人、千葉県近郊の学生ボランティア100人
	5-a.2022千葉シテイトライアスロン大会の観戦イベント (パラ「旅」応援事業)	10月16日	稲毛海浜公園	18人	千葉県在住の障害のある人18人、千葉県近郊の学生ボランティア34人及びヘルパー12人
	5-b.2022ジャパンパラ車いすラグビー競技大会の観戦イベント (パラ「旅」応援事業)	2月5日	千葉ポートアリーナ及びペリエ千葉	25人	千葉県在住の障害のある人23人、千葉県近郊の学生ボランティア55人及びヘルパー13人
	6.障がい者が従事する駄菓子屋を使った地域活性化イベント企画・立案	随時	駄菓子屋ITSUMO	30人	都賀地域周辺の小学生及び住民延べ300人、千葉県近郊の障がい者10名

	7.子どもを対象とする地域スポーツイベント等に障がい者の活躍するブースの出店	10月23日 2月26日	青葉の森陸上競技場及びエスタディオサンフット	5人	千葉県近郊の障がい者5人、千葉県近郊の子ども延べ500人
④社会貢献活動に取り組む人々のコミュニティ運営事業	8.学生団体おりがみを中心とした若手ボランティア団体の支援事業	随時	オンライン及び東京・千葉県を中心とする首都圏	12人	学生団体おりがみ及び全国学生ボランティアフォーラムをはじめとした3団体延べ500人
	9.墨田区京島のコミュニティスペースの運営事業	通年	墨田区京島	6人	千葉大学を中心とした学生、墨田区の町工場に従事する若者
合計					

(2)その他の事業(定款に「その他の事業」として定めている場合のみ)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数
①飲食物販売事業	今年度は実施なし	—	—	—
③物品、権利、役務及びその他の当該消費者契約の目的となる事業	今年度は実施なし	—	—	—